

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 富士会)

事業所名 (ヴィラトピア知立)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
移乗サポートロボット		ハグ		
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)	
30年 9月 1日	1	30年 9月 1日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>特別養護老人ホームご利用者のトイレ介助における移乗に生じるご利用者、介護職員双方の負担軽減を図る</p> <p>導入決定後→業者との契約→30年9月機器納入→使用研修実施→使用状況検証→導入効果報告</p>				
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>利用者の尊厳、プライバシーを十分に考慮する。</p> <p>ご利用者及びご家族へ使用について説明、了承を得た上で対応する。</p>				
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>職員の身体負担軽減。アンケートにて、導入前後の数値確認により効果確認を行う。ご利用者の状況を勘案しつつ、2人介助での移乗を1人介助でできるようにする。ご利用者の移乗時における身体面、精神面の負担軽減。</p>				
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>現状、2人介助で行っている一部ご利用者のトイレ誘導が、1人で行う事ができ、トイレ介助における時間の削減ができる。</p> <p>ご利用者は安楽にトイレへの移乗ができ、身体、精神ともに負担が軽減する。</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人なごや福祉施設協会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム なごやかハウス滝ノ水)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
装着型介護ロボット(移乗・排泄・入浴)		HAL 介護支援用(腰タイプ) CB-2		
導入時期(予定)	導入台(セット)数	購入日(予定)	リースの契約期間(予定)	
平成 30 年 11 月 1 日	4 台	年 月 日	平成 30 年 11 月 1 日から 平成 35 年 10 月 31 日まで	
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>夜勤帯における排泄介助や体位交換等において腰部にかかる負荷を低減することで、腰痛を引き起こすリスクを減らす。</p> <p>導入決定後→業者と契約→平成 30 年 11 月 1 日納品→使用研修実施→使用状況検証→導入効果報告</p>				
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>利用者の尊厳、プライバシーなどを十分考慮し、機器利用前に利用者・家族への説明を十分にし、了承を得た上で、ロボットを使用します。</p>				
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>○職員が単身で多数のご利用者のケアを行う夜勤帯でのベッド上の排泄介助や体位交換等「中腰」で行うケアは腰部への負担が大きく、腰痛へと繋がるリスクが大きいことからロボットの導入により職員の腰部に係る負担を軽減して腰痛の予防を図る。</p> <p>○入浴介助時は、移乗、立位保持、洗身・洗髪等複雑なケアをマンツーマンで行う必要があるが、予期しない動きをされるご利用者も多いため、ロボットの導入により確実に対応できるようにして介護事故の防止を図るとともに、従来 2 人で対応していたケースでは 1 人対応にして業務の省力化を図る。</p> <p>○上記業務改善を通して、職員にとって心身の負担の少ない働きやすい職場環境の醸成を図る。</p> <p>※当施設は、ご利用者・職員双方に優しいノーリフティングケアの導入を進めているが、それだけでは解決できない上記の問題についてロボットの導入で改善を図るものである。</p>				
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>○ノーリフティングケアの導入と合わせて、ロボットを導入することで、職員・ご利用者双方の心身を守るやさしいケアが展開できる。</p> <p>○職員の腰部への負担が大きく軽減され、腰痛予防が図られることで、年齢を重ねても介護業務に従事することが可能となり、職員の安定雇用が図られる。</p> <p>○ロボットのパワーアシストを借りることで、従来なら事故(職員の腰痛、ご利用者の転倒・転落)に至ったケースを未然に防ぐことが可能となる。</p>				

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人カリヨン福祉会)

事業所名 (特別養護老人ホームカリヨンの郷)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介護		離床アシストロボット リショーン Plus	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
30年9月1日	1台	30年9月1日	年 月 日から 年 月 日まで
【事業概要及び導入スケジュール】 特別養護老人ホーム利用者の生活の質を確保するため、様々な介護サービスを提供すべく可能な限り離床を促している。その中で離床時の入所者及び職員の負担軽減を図る。 平成30年7月 機器設置事前調査 9月 機器導入、機器使用法説明会実施 導入～平成31年3月 評価及び改善			
【倫理面への配慮】 通常のベッドと同等品として取り扱うことが可能であり、利用者に対して身体的・精神的苦痛を与えることなく、プライバシーなど十分考慮したうえで、施設利用者及び家族に説明を行い、了承を得たうえで対応する。			
【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処) ① 職員の身体的負担の軽減 ② 施設利用者の移乗時における身体的・精神的負担の軽減 ③ 介護職員の配置変更による利用者提供サービスの質の向上			
【介護ロボット導入により期待される効果等】 ① 職員の身体的負担の軽減に伴う、職員の処遇改善。 ② 施設利用者の移乗時における身体的・精神的負担軽減による利用者の満足度の向上。 ③ 介護職員の配置変更による利用者提供サービスの質の向上。 ④ リクルート効果 当施設ではこれまで様々な介護ロボットを活用して、職員の業務負担を軽減し、かつ利用者へのサービス提供に役立っている。他施設との差別化を図ることで離職率の低減効果が期待される。			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (医療法人 鉄友会)
 事業所名 (介護老人保健施設 さくら大樹)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		介護用 マッスルスーツ	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
30年 9月 1日	3台	30年 9月 1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>当機器の導入にて、職員の腰の負担を軽減し腰痛予防を図り、空気圧式の人工筋肉の補助により作業の効率アップを図る。</p> <p>導入スケジュール 平成30年7月申請、8月上旬から中旬デモンストレーション及び職員への周知、同月中旬から下旬において、利用者等に説明、9月導入</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>機器の使用目的、安全性、効果等について利用者及び家族に説明し同意を得る。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の腰痛予防を図る。 ・ 腰痛による離職及び休職を防ぐ ・ 介護サービス (ケアの質や自立支援への効果) の向上 			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 腰痛で悩む職員への負担軽減。 ・ 小柄な職員が介助する際の負担軽減。 ・ ケアの質や自立支援への効果が期待でき、利用者及び家族の満足度向上に繋がる 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (医療法人 鉄友会)
 事業所名 (介護老人保健施設 さくらの里)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		介護用 マッスルスーツ	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
30年 9月 1日	3台	30年 9月 1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】 当機器の導入にて、職員の腰の負担を軽減し腰痛予防を図り、空気圧式の人工筋肉の補助により作業の効率アップを図る。</p> <p>導入スケジュール 平成30年7月申請、8月上旬から中旬デモンストレーション及び職員への周知、同月中旬から下旬において、利用者等に説明、9月導入</p>			
<p>【倫理面への配慮】 機器の使用目的、安全性、効果等について利用者及び家族に説明し同意を得る。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の腰痛予防を図る。 ・ 腰痛による離職及び休職を防ぐ ・ 介護サービス (ケアの質や自立支援への効果) の向上 			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 腰痛で悩む職員への負担軽減。 ・ 小柄な職員が介助する際の負担軽減。 ・ ケアの質や自立支援への効果が期待でき、利用者及び家族の満足度向上に繋がる 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人さくら福祉事業会)

事業所名 (特別養護老人ホームさくらレジデンス)

サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
移乗介助		介護用 マッスルスーツ		
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)	
30年 9月 1日	1台	30年 9月 1日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>当機器の導入にて、職員の腰の負担を軽減し腰痛予防を図り、空気圧式の人工筋肉の補助により作業の効率アップを図る。</p> <p>導入スケジュール 平成30年7月申請、8月上旬から中旬デモンストレーション及び職員への周知、同月中旬から下旬において、利用者等に説明、9月導入</p>				
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>機器の使用目的、安全性、効果等について利用者及び家族に説明し同意を得る。</p>				
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の腰痛予防を図る。 ・ 腰痛による離職及び休職を防ぐ ・ 介護サービス (ケアの質や自立支援への効果) の向上 				
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 腰痛で悩む職員への負担軽減。 ・ 小柄な職員が介助する際の負担軽減。 ・ ケアの質や自立支援への効果が期待でき、利用者及び家族の満足度向上に繋がる 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 恩賜財団 愛知県同胞援護会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム春緑苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗支援ロボット		離床アシストロボット リシヨーネ Plus (型番: XPN-S10601) パナソニックエイジフリー株式会社	
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
平成 30 年 10 月 1 日	1 台	平成 30 年 10 月 1 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>特別養護老人ホーム利用者の離床を伴う活動的な生活支援サービスを提供する中で、疾病による安静確保や身体的課題（拘縮等可動域制限）により、移乗時に利用者本人または職員にかかる過度な身体的負担の軽減を図る。</p> <p>〈スケジュール〉</p> <p>平成 30 年 9 月 機器導入事前調査</p> <p>平成 30 年 10 月 機器導入</p> <p>平成 30 年 10 月 機器使用方法説明会実施</p> <p>以降 年度毎に使用状況報告 導入 3 か月後、メーカーにより活用状況ヒアリング実施。定着確認を行う。</p>			
<p>【倫理面への配慮】</p> <p>機器使用前に利用者の不安等に配慮し利用者・家族への説明を行い、理解を得た上で利用する。また、安全に利用ができるよう、職員への安全な使用の為の教育とリスク管理の実施を定期的に行う事とする。</p>			
<p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>○職員の身体的負担の軽減を図る。</p> <p>○移乗二人介助を一人介助とすることが可能になる事で、職員のマンパワー不足の解消を図る。</p> <p>○移乗に付随する事故（転落・剥離等）リスク軽減で、利用者・職員共に恐怖心を軽減する。</p> <p>○移乗用吊り上げ式リフトが身体的理由から使用できない方への対応ができ、介助の幅の拡大につなげる。</p>			
<p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>○移乗介助時に職員に生じる過度な身体的負担や事故リスクの軽減。</p> <p>○力に頼った介助からのパラダイムシフトで無理なく魅力ある介護現場を作り職員満足度向上。</p> <p>○機器の使用で利用者の安心・安全の確保だけでなく、家族にも安心した介護の提案。</p>			